

⑬ 公開実用新案公報 (U)

昭61-64429

⑫ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)5月1日

B 29 C 47/60

6653-4F

審査請求 有 (全2頁)

⑮ 考案の名称 高分子材料押出用スクリュ

⑯ 実 願 昭59-145570

⑰ 出 願 昭59(1984)9月25日

⑱ 考 案 者 菅 野 勝 視 神戸市西区伊川谷町別府263の39
 ⑲ 考 案 者 池 上 喜 雄 神戸市北区大池見山台14の212
 ⑳ 考 案 者 高 下 正 三木市志染町東自由が丘1丁目643番地
 ㉑ 考 案 者 秋 田 敏 明 尼崎市善法寺町27の12
 ㉒ 考 案 者 岸 史 郎 神戸市須磨区神の谷1丁目1の75
 ㉓ 出 願 人 株式会社神戸製鋼所 神戸市中央区脇浜町1丁目3番18号
 ㉔ 代 理 人 弁理士 安田 敏雄

⑳ 実用新案登録請求の範囲

主フライトとそれより僅小径の副フライトとの間に、主フライト前面側に漸次深くなる溶融材料用溝と、副フライト前面側に漸次浅くなると共に前記溶融材料用溝より巾広の未溶融材料用溝とを形成した第1溶融部を有する高分子材料押出用スクリュにおいて、

前記スクリュの第1溶融部の前方に接続部を介して第2溶融部が一体成形されており、この第2溶融部は主フライトとフライト高さが一定長さごとに漸減及び漸増を繰り返す少なくとも1条の偏心フライトとが形成され、これら両フライトの間には少なくとも2条の溝が形成され、その内の1条溝は溝深さが偏心フライトの位相に対応して増減し且つ他の条溝は溝深が前記条溝と位相がずれて増減すべく形成されており、前記接続部は第1、第2溶融部の各主フライトと連続するフルフ

ライトと、第1溶接部から送られてくる溶融及び未溶融材料を混合しながら第2溶融部の全条溝へ供給すべく各溶融部の単位容積より大きい単位容積の溝とが形成されていることを特徴とする高分子材料押出用スクリュ。

図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示しており、第1図は要部の一部断面正面図、第2図は全体の一部断面正面図である。

1…スクリュ、2…シリンダ、3…ホツバ、4…押出機、6…供給部、7…第1溶融部、8…接続部、9…第2溶融部、A…主フライト、B…溝副フライト、C…フルフライト、D…偏心フライト、E…偏心フライト、GM…溶融材料用溝、GS…未溶融材料用溝、GA、GD、GE…条溝、GF…フルフライト溝、M…溶融材料、S…未溶融材料。

